

(それぞれの事業所からのご挨拶)

エデンの園 第1福祉課

●じょいほっぷ ～放課後子どもクラブ～

じょいほっぷへようこそ!!

午後のエデンの園。賑やかな声がエデンの園の玄関に入ってすぐの音楽室から聞こえてくる。じょいほっぷの元気な子どもたちの声だ。

地域貢献事業としてはじまった“じょいほっぷ”は4年目を迎えた。『地域の子どもの居場所に。地域で働くお母さんたちの支えに。』と、名前は職員で考えた。“じょい”はまさしく楽しむ。“ほっぷ”は麦。『一粒の麦』からいただいた。1年目。2人の3年生からの始まりであった。「エデンの園のことは昔から知っている。でも、地域の子どもの利用するってどういうこと？」町内の方々にとってははじめは疑心暗鬼だったかもしれない。なかなか思ったように子どもたちの人数は増えなかった。しかし、少しずつではあるが問い合わせが増え、3年目を迎える頃には、町内の3つの小学校から合計10人を超える子どもたちが利用する日(ちなみに夏休み)もあり、嬉しい悲鳴をあげるまでになった。まさしく一粒だった麦が増えていく様子に似ているようだった。名前のおり“じょいほっぷ”になってきたと思う。3年生だった子は現在6年生になった。誰が頼んだわけではないが、下級生の宿題をみてくれていることもある。(正直、大人が分からない問題もあり大いに助かっているのが本音だ…)最近あまりみられなくなった“縦の関係”だ。大人の利用者との関わりも徐々に増えてきた。

子どもたちの部屋に、利用者も時々来られて、一緒に過ごす事がある。はじめはおっかなびっくりだった子どもが、利用者の名前を覚え、「〇〇さん。」と名前を呼び、頼まれて刀で斬る真似をしてふれあう姿を微笑ましく見守っている。

大人ばかりのエデンの園に子どもが入ってくるのもなかなか良い光景だと思う。子どもたちを優しい眼差しでみている利用者の何と多い事が…。「今日、子どもたち来る？」心待ちにしてくれている利用者からの質問も毎日ある。

子どもを取り巻く社会も現代は複雑だ。学校、家庭、宿題、遊びに…。そんな子どもたちのしばし、「ほっとする」場に“エデンの園じょいほっぷ”がなっていけたらと切望する。

生活支援員 五 島 千恵子



●エデンの園 ふれあい

エデンの園ふれあいでは、5月より「地域清掃」のプログラムを取り入れました。このプログラムの一番の目的は、「社会生活支援」です。私たちの日中活動支援のサービスの内容や目的が分かりにくい為、活動の一部分である「レクリエーション」や「ドライブ」などの活動だけを見て、毎日楽しく過ごしているだけと思われがちですが、冒頭にも挙げた「社会生活支援」の推進こそが、我々の責務だと思います。今後も社会生活支援を目に見える形で発信していきたいと思っています。

サービス管理責任者 日 武 敏



●エデンホーム三名

私たち見守られています。

4月14日、三名区多目的広場(堤防 河川敷公園)の草刈作業にホームみらいの利用者2名職員1名で参加しました。主にグラウンドの草むしり作業でしたが、近所の方から、「あなた達も来てくれたの。ありがとう。」と感謝の言葉をいただきました。作業終了後、以前エデンの園に勤務していた方から「〇〇君最近、見かけないけど、どうしたの?どこが悪いの?」と声をかけてくださり、「日中、ふれあいだけでなく違う所に通っています。元気ですよ。」と説明すると安心されていました。「〇〇さんも最近、見かけないんだけど」とホームの利用者さんのことを気にかけてくださっていました。ホームみらいからふれあいまでの短い道でも、近所の方に温かく見守られているのだなとつくづく感じました。

エデンホーム三名 チーフ 町 田 紀 恵



エデンの園 第2福祉課

●就労継続支援B型事業所つむぎ

地域とのつながり

5月3日(金)「つむぎ」開所1周年の記念と、地域とのつながりをもっと深めようと側面から、特定非営利活動法人カーサグランデさんとのコラボレーションで「音と人のつながる～輪音(わおん)ライブ2019」を開催しました。ライブ当日は、ライブ開催のことを聞きつけた方たちが100名以上来ていただき、ライブが始まりました。エデンの園からは、ライブのオープニングとして「KCスピリッツ」が演奏していただき、ライブを盛り上げていく原動力となり、チェロによる演奏、チェロと朗読のコラボレーション、チェロとピアノのコラボレーション、三線の演奏、ライブ終盤には「奈良わたぼうしさん」による演奏があり大いに盛り上がりました。ライブの最後には「KCスピリッツ」のボーカリストの高山さんと「奈良わたぼうしさん」のメンバーさんとの数十年ぶりに再会され、昔、一緒に歌った曲をサプライズ演奏しライブの最後を締めくくることができました。

今回、ライブを通して、数十年ぶりの再会であったり、新たな人との出会いの場になったりと、音楽が人と人をつなげることの凄さに深く感動しました。できれば、「音と人のつながる～輪音ライブ2020」開催し、音楽を通してもっと人とのつながりを広げていきたいと思いました。ライブに参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。来年も開催する際は是非とも足をお運びください。

サービス管理責任者 徳原 潤



●放課後デイサービス麦わらぼうし

地域との繋がり～就労支援B型つむぎとの芋の苗植えを通して～



今回麦わらぼうし、つむぎとの共同作業で芋の苗植えを実施しました。

畑を管理する、地域の方にも苗植えのコツを教えてもらいながら行っています。参加した児童も、「ここはどうやってするんですか?」「苗はまだありますか?」と質問し、意欲的な姿が見られています。次回は第二弾として、9月頃を目処に、芋掘りを計画しています。今回参加して頂いた、地域の方々、つむぎの利用者・職員、麦わらぼうしの利用児・保護者の方、この場を借りお礼を申し上げます。ありがとうございました。

児童指導員 星崎 悠成

●エデンホーム森永(青い鳥・ほのか)

地域との関わり・交流

エデンホーム森永(青い鳥・ほのか)では、主に余暇等で地域との関わり・交流があります。散歩では近くの森永公園へ行くと、グランドゴルフをしている高齢の方々から挨拶や、声をかけていただきます。ドライブ等では、国富外のところで、色々な方々との交流があり、その都度「どこの施設さんですか?」「皆で楽しそうですね」等の言葉をいただきます。その他、総合検診であったり、地域の障がい者スポーツ大会などにも積極的に参加して、地域の方々とのふれあいの場の機会を増やしています。今後も地域の方々との交流を大切に、障がい者に対しての理解をもっと深めて頂くように努力していきたいと思っております。

エデンホーム森永 世話人 保利 翼

